



自分の身は自分で守る！

11月20日（金）に避難訓練を実施しました。今回は、火災を想定した訓練で、出火場所を理科室として避難をしました。どの子ども真剣に取り組み、素早く避難することができました。学校での訓練では、先生からの指示のもと避難することが多いですが、災害はいつ襲ってくるか分かりません。自分一人で避難しなければならないことがあるかもしれません。放送を聞いて正確な状況をつかみより安全な方法で避難するなど、危険を予測し、回避する力をつけていくことが大切です。ご家庭でも、家に居る時や家族で出掛けた時など、もしもの時にどうしたら良いか、話し合う機会を設けてもらえたらと思います。



＜素早く避難！＞

＜水消火器での訓練＞

＜消防車見学＞

また、このところ、市内の不審者情報のメールが学校に配信されることが目立っています。腕をつかまれたりするなど、かなり危険な状況のものもありました。幸いにも、すぐに大きな声を出し腕を振り払ったため不審者は離れていったとのことでした。危険な状況に直面した場合、「大きな声を出して助けを求める」・「すぐに逃げる」などすることが必要です。また、危険な状況を未然に防ぐことも大切です。学校では、子どもたちに繰り返し指導しておりますが、ご家庭においても、ご指導よろしくをお願いします。

～「石の門柱の思い出」～

学校支援ボランティアでお世話になっている佐藤政子さんより、お手紙をいただきました。島小の南側にある石の門柱について、子どもたちに伝えたいとのことでした。以下に、紹介させていただきます。

先日は感謝の会に招待してくださり、ありがとうございます。子供達の学習発表、音楽発表は楽しく、とても感動いたしました。特に学習発表では、色々な事を知ろうとする姿に心打たれました。

私は、昭和32年度島中学校の卒業生です。今年度、島小学校の廃校が決定した事を聞き、10月19、20日に同窓会を開きました。というのは、島小学校の門柱は、私達昭和32年度の卒業生が作ったもので、昭和30年に落成した校舎に卒業記念は何にしようかと色々考え、「まだ門柱ができていない」「利根川にはいっぱい石がある」「64名の私達が好きな石を集めて作れば時間が過ぎても、どこに居ても、故郷に帰った時、私の石がここにある。とてもいい思い出になるのではないかと【石の門柱】に決めました。このような思い出のある場所に集まりたかったからです。校舎は昭和41年に中学校から小学校へと変わり、平成4年には建て替えられましたが、通学する子供達を57年間見守ってくれたことはとてもうれしく思います。島小学校は廃校になってしましますが、私達の思いが自分達の思い出だけで終わらないで「先輩達のあんな思いでできた門柱なんだ」と子供達の頭の片すみにも残ってくれたらうれしく思います。

島っ子スペシャル開催！

12月7日に、「島っ子スペシャル」が開催されました。日頃より、朝の読み聞かせでお世話になっている島っ子の会の皆さんが、忙しい中、準備を進めてくださりました。当日は、素敵な舞台が整い、始まる前からワクワク感いっぱいです。地域の方々もたくさんお見えになりました。いよいよ開演です。五つのプログラムは、群読やペープサートなど、いつもの読み聞かせの内容とはひと味違ったものも披露していただき、素敵な時間を過ごすことができました。本当に素晴らしいプログラムでした。島っ子の会は「子ども達に本の世界の楽しさを伝えたい」という思いから始まったということですが、おかげさまで本が大好きな子ども達が育ってきています。改めてお礼を申し上げます。ありがとうございました。



世界人権デー



12月10日は世界人権デーです。日本では、12月4日（金）から12月10日（木）までを人権週間としています。島小でも、人権集中学習に取り組んできました。これは、学校全体で集中して人権学習をすることにより、人権についての理解や人権を尊重しようとする意識をもたせることをねらいとしています。校長による人権講話や道徳の時間を使っての人権学習、人権標語の作成等を行ってきました。

小学校における人権教育では、「人権の大切さについて理解するとともに、生命の尊さや、自分の大切さや他の人の大切さに気付き、よりよい人間関係を築こうとする能力や態度を身に付ける。」ことを目指しています。

自分も友達も大切にできる優しい心をもった島小学校の子どもたちになってほしいと思います。